



「思い出は成長が大きいほど心に残る」

いよいよ運動会練習が本格的に始まります。運動会に参加して「たくさんの思い出をつくりたい」と思う人がいますが、先生はもう少し違った考え方をしています。

いい思い出は、単に楽しかった記憶だけではなく、成長も伴ったものではないでしょうか。楽しかった記憶がたくさんあると幸せですが、先生たちは思い出を作るために行事を企画しているわけではありません。学校の行事は、みなさんの成長のために計画されているのです。

運動会は、勝ち負けだけではなく、一人一人が全力を出し切ったり、仲間と協力したりすることで、結果的に振り返ったときにいい思い出として残るのだと思います。

例えば、競技に積極的に参加したり、仲間を応援したりすることで、自分自身の成長を感じることができます。運動会は楽しむだけでなく、自分や友だちとの関係を深める機会でもあります。そうすることで、思い出となる瞬間が自然と生まれるのです。

思い出は、ただ作るものではなく、そのときの経験が成長につながる大切です。実際、先生は育休中に見に来た運動会よりも、ソーラン節を教えた運動会のほうが、生徒と一緒に筋肉痛になった日々や自主練習での努力していた姿を思い出して涙が出るほど感動し、いまでも強く記憶に残っています。

みなさんにとっても、今日からの練習期間を含めた経験が、後に振り返ったときに素晴らしい思い出として心に刻まれることを願っています。